

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	環境浄化・青少年非行防止活動事業			コード	102202	
2 担当部課	部等	教育部	課等	生涯学習課（生涯学習活動センター）	作成者	小口 明彦
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	生涯学習の推進	施策	青少年の健全育成	
		予算科目	環境浄化・青少年非行防止活動事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		根拠法令	なし			

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	関係機関と連携し青少年が非行に走らないようにする。		
目的	対象者	市民	
	意図	青少年の健全育成、非行防止の推進。	

5 事業の実施内容	*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1. 青少年非行防止活動 少年愛護委員による市内のパトロール、「愛の声かけ」による指導を行った。 実施日数 125日、従事委員延べ人数 357人、補導少年延べ人数 15人</p> <p>2. 社会環境浄化活動 11月2日（土）午後9時～ 深夜パトロールを警察官も同行してもらい行った。</p> <p>3. 街頭啓発活動 7月1日（月） 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」 ララオカヤ前 11月1日（金） 「子ども・若者育成支援強調月間」 南部中学校・岡谷南高校にも協力いただいた。</p>			
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・市の実状にあった基準に改善してきている。 ・区毎の他に、協議会のグループによる「チェック活動」を実施 		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	少年愛護委員のパトロール日数			単位	日
実績値	130	143	125		
*指標の説明	少年愛護委員のパトロール日数				
② 成果指標（指標名）	青少年健全育成協力店の数			単位	店
目標値	684	678	680	682	
実績値	614	609	583		
達成度	89.8%	89.8%	85.7%		
*指標の説明	青少年健全育成協力店の数				
*目標値の設定方法の説明	岡谷市内の協力店依頼対象事業者等数（既協力店含む）				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	1,417,737	1,532,896	1,399,121	1,756,000
経常経費	1,330,537	1,532,896	1,399,121	1,756,000
臨時的経費	87,200	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	5,600,000	5,600,000	6,000,000	6,000,000
正規職員の人数(人)	0.70	0.70	0.75	0.75
③ 合計コスト(①+②)	7,017,737	7,132,896	7,399,121	7,756,000
前年度比		101.6%	103.7%	104.8%
財源内訳				
一般財源	7,017,737	7,132,896	7,399,121	7,756,000
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	53,312	49,880	59,193	
前年度比		93.6%	118.7%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
県青少年補導センター 連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	15,000	15,000	15,000	15,000
県青少年補導委員会連 絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	18,000	18,000	18,000	18,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等 合計金額及び割合	合計金額	33,000	33,000	33,000	33,000
	割合	2.33%	2.15%	2.36%	1.88%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

低い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	95.7%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	85.7%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)	
	①愛護パトロールのマンネリ化やパトロールしても子どもがいない。 ②小学校選出の愛護委員の日程調整が困難でありパトロールができない。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	①パトロールの場所や時間帯、曜日などを考慮して実施する。 ②小学校選出の愛護委員を生徒指導推進委員から選出していただくよう協力をお願いする。	
	改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	-------------------------------------------	---

度

日

日



